

船形コロニー整備事業 基本構想（概要版）

施設概要

昭和 48 年に開設した船形コロニー（黒川郡大和町）は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく「障害者支援施設」として、地域での生活が困難な重度・最重度の知的障害者を県内全域から受け入れている。

I. 基本構想の策定にあたって

建物・設備の老朽化により建て替えを見据えた建物・設備の整備が喫緊の課題であり、県立施設としての役割を引き続き果たしていくべきとの検討会での結果を踏まえ、今後の整備の基本的な考えをとりまとめたものである。

（これまでの取組み経緯）

- ◇ 県立障害児者入所施設のあり方検討会 (H26)
- ◇ 船形コロニー施設整備検討会 (H27)

II. 現施設の現状と課題

【現状】利用定員（利用者数）(H28. 4. 1 現在)

- ・施設入所支援，生活介護：210 人※（209 人）
※受入可能人数
- ・就労継続支援 B 型（通所）：20 人（18 人）
- ・短期入所：10 人

【課題】

- ・建物の老朽化・設備機能の不具合
- ・生活環境の改善に向けた対応
- ・入所利用者の高齢化・障害の重度化への対応
- ・啓佑学園 18 歳以上入所利用者の受入対応 など

III. 求められる基本的役割・機能

- 【役割】
- ① 県全域のセーフティネット
 - ② 民間をバックアップ
 - ③ 地域の社会資源をコーディネート

- 【機能】
- ① 入所支援機能（セーフティネット）
 - ② 地域生活支援機能（バックアップ）
 - ③ 県全域の障害福祉拠点機能（コーディネート）

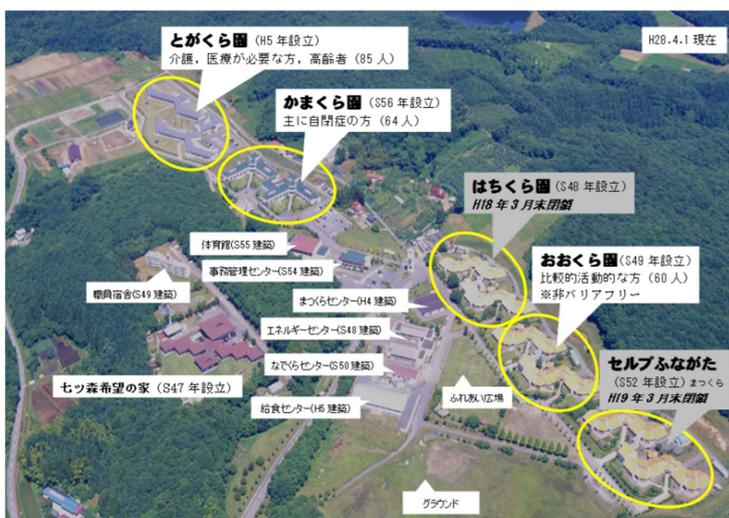
IV. 施設整備の方向性

【基本理念】

「利用者一人ひとりの意思を尊重し、利用者主体の障害福祉サービスを提供する」



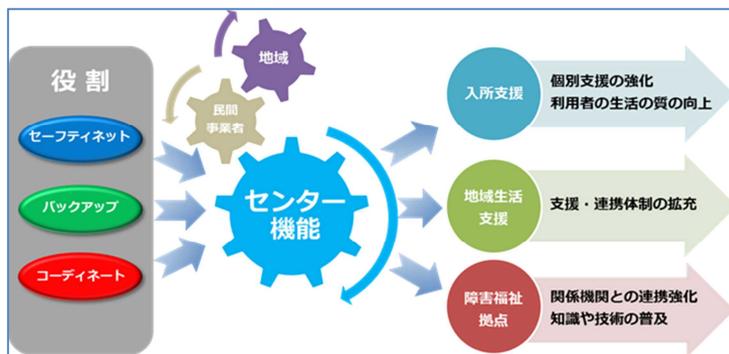
◆案内図



◆現況位置図（建設時期，入所利用者の特性，入所利用者数）

建物名称	建築年	経過年	バリアフリー化
おおくら園	S49	41年	未対応
かまくら園	S56	34年	対応済
とがくら園	H5	22年	対応済
はちくら園	S48	42年	未対応
セルプふながた	S52	38年	未対応
なでくらセンター	S50	41年	未対応
まつくらセンター	H4	23年	未対応
事務管理センター	S54	37年	未対応
給食センター	H5	23年	未対応
体育館	S55	35年	対応済
エネルギーセンター	S48	42年	未対応

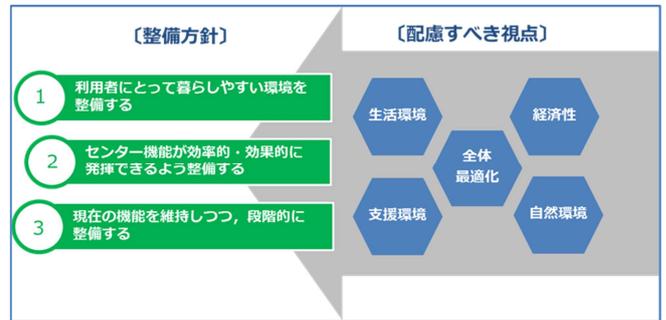
◆各建物概要（はちくら園，セルプふながた：閉鎖済み）



◆基本的役割・機能と目指す方向性

【基本方針】

- ①利用者の生活の質の向上を図り、安全・安心で快適に生活できる施設
- ②高齢化や障害の重度化などに対応した支援の充実が図れる施設
- ③県内全域の社会資源や民間事業者等との連携・協働が創出される施設



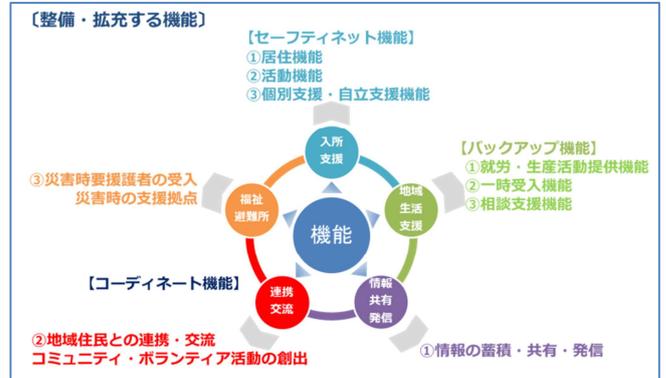
◆整備方針と配慮すべき視点

【整備方針】

- ①利用者にとって暮らしやすい環境を整備
- ②県立施設としてのセンター機能を効率的・効果的に発揮できるよう整備
- ③現在の機能を維持しつつ、段階的に整備

【整備・拡充する機能】

- ①居住機能，活動機能，個別支援・自立支援機能
- ②就労・生産活動提供機能，一時受入機能 等
- ③情報共有・発信，災害時の支援拠点機能 等



◆整備・拡充する機能

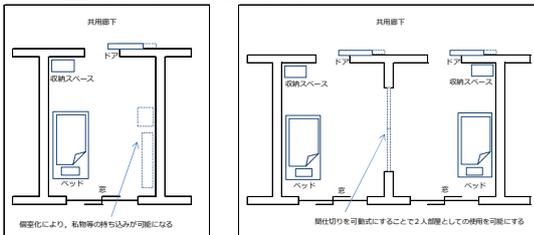
V. 施設整備概要

- ①整備場所の検討結果：「現地」とする。
- ②整備位置の検討結果：「おおくら園周辺」とする。
- ③既設建物の整備の方向性一覧

整備対象	建物名称	整備の方向性
居住棟	おおくら園 かまくら園	建て替え
	とがくら園	大規模改修
	旧はちくら園 旧セルプふながた	取り壊し
活動棟 作業棟	なでくらセンター まつくらセンター	建て替え
事務管理棟 給食棟	事務管理センター 給食センター	建て替え
体育館	体育館	大規模改修
エネルギー棟	エネルギーセンター	取り壊し

④計画上考慮すべき事項（抜粋）

- ・居室の基本，個室化と複数の居室タイプ



- ・整備すべき居室数計：240室（全体計：300室）

項目	必要室数
①建て替え棟の入所利用者相当数	125室
②既存居住棟の個室化に伴う相当数	30室
③啓佑学園 18歳以上入所利用者相当数	45室
④短期入所利用者相当数	20室
⑤待機者等相当数	20室

VI. 事業計画

①全体整備スケジュール

年度	事業内容
平成28年度	基本構想，設計者選定
平成29年度	基本設計，実施設計（一部）
平成30～33年度	実施設計（段階的に実施）
平成31～34年度	建設工事（段階的に実施）
平成32年度	一部供用開始（新居住棟）
平成35年度	全面供用開始，整備完了

②想定される整備規模

主用途	詳細	想定延床面積
新居住棟	240室，24ユニット程度 トイレ，洗面，風呂等	11,150㎡程度
新付属建物	活動 活動スペース， 事務管理スペース等	2,450㎡程度
	事務管理 事務室，会議室，書庫， 研修室，図書資料室， 地域交流室等	2,200㎡程度
	給食 厨房（関連設備含） 事務管理等	550㎡程度
（合計）		16,350㎡程度
改修	とがくら園，体育館	4,882㎡
解体	居住棟，付属棟 ほか	13,109㎡

③概算事業費

内訳	事業費（税抜）
調査費（地質調査，測量費）	45,000千円
設計費（基本・実施設計等）	299,268千円
建設費（新築・改修・解体）	8,119,944千円
その他（工事監理費等）	277,093千円
概算事業費計	8,741,305千円

※概算事業費について

- ・今後の基本設計等により，変更の可能性がある。
- ・現時点で想定される規模等により算出したものであり，合築や多層階化を検討し，コスト削減を図る。